はじめに
「部下との本物の信頼関係を築き、いい会社をつくりましょう！」

デライトコンサルティング株式会社　　代表取締役　近藤 圭伸 氏

たった一度の人生です。人との信頼関係が築けた人生はきっと素晴らしく、誇りをもてると思います。私は、「生きることの価値」「働くことの価値」を考えたとき、そこには上司と部下との信頼関係を抜きにして語ることはできないと思っています。
では、そもそも上司と部下との信頼関係とは、いったいどのようなことをいうのでしょうか？文字どおりに捉えれば「上司と部下がお互いを信じて頼る関係」ということになりますが、そんな単純なものではないでしょう。

私が考える上司と部下との信頼関係は、次のようなものです。
「お互いのことを認め、より深く理解し、共有する目的のために助け合いながら働き、成長できる関係」。

ここ10年くらい前から、急速に人と人との信頼関係や絆が影をひそめ、トラブルが非常に多くなってきています。会社でいえば人事労務に関するトラブルの多発です。上司と部下との関係もギスギスしてきています。しかし、誰一人としてこのような状態を望んではいません。誰もが信頼関係をもって働き、幸せになりたいと願っているはずです。

私はこのような状況を改善、打破できるのは、職場をあずかる上司が人事労務管理の「知識」を備え、職場で**４つの実践力**すなわち**「観察力」「傾聴力」「承認力」「対話力」**を発揮することにあると考えています。

本連載では、この**人事労務管理の「知識」と「４つの実践力」を合わせて、「上司の人事労務管理力」**としています。上司が「人事労務管理力」をいかに発揮するかによって、部下との本物の信頼関係ができるかどうかが決まります。

これから13回にわたり、上司と部下との関係において、職場で忘れてはいけない大切なこと、当たり前のことについて、ご紹介をしていきます。「知識」については労働基準法や労働契約法など法的な事項もありますが、紙面の都合、今回は特に人材育成にかかわるものを中心にご紹介します。
忘れてはいけない当たり前のことの中から上司と部下の関係の本質を感じとっていただき、信頼関係を築きあげ、現状を打破する突破口を見出してもらえるのではないかと考えています。

本連載が厳しく不安な時代において、上司と部下との信頼関係づくりに少しでもお役に立ち、元気のある会社作りに貢献できれば大変幸いに思います。

最後に、本連載は拙著『上司の人事労務管理力』(中央経済社刊)の中から、大切な部分を引用するかたちで書きすすめていきます。人事労務管理力の「知識」と「４つの実践力」について詳細をお知りになりたい方は、ぜひ拙書をご参考になさってください。

デライトコンサルティング株式会社　　代表取締役　近藤 圭伸

1989年 株式会社デンソーに入社。その後、監査法人トーマツのコンサルティング部門で、人事・賃金コンサルタントとして、さまざまな業種・規模にわたる企業のコンサルティングを経験。
平成11年に独立し、デライトコンサルティング㈱を設立。現在、管理職・職場リーダーの人事労務管理力開発に力を注ぐ。中小企業診断士、社会保険労務士、産業カウンセラー。

著書：『わかりやすい会社規程作成の手引き』（新日本法規出版）　『上司の「人事労務管理力」』（中央経済社）
『管理職・職場リーダーのための人事・労務Q&A』（中央経済社）

Delight Consulting

人事賃金制度の構築・運用支援、人事労務相談の顧問業務を数多く実施しています。また、管理職・職場リーダーの人事労務管理力研修など、上司と部下の信頼関係づくりや組織力向上のための研修を行っています。　www.delight-c.com